（明治四十一年十二月三十日第三種郵便物認可）（日刊）月曜及祭日の翌日休刊 明治四十三年十二月二十二日（木曜日） 第五百八十六號 （一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年紀元二千五百七十年
本紙定價 一枚金二錢▲一ヶ月前金卅錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵稅一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一圓金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所 京城新報社

土地調査事業の說明（一）（總督府臨時土地調査局）

第一章 緒言

歐米先進國は勿論我日本帝國本土が今日の如く產業の發達を來したるは其原因固より鮮少ならずと雖各人民所有の土地を保護し其改良及利用に就て毫も障碍無からしめ以て土地生產力の增加に勉めたるは蓋し其主要なる者と謂はざるを得ず顧て此を朝鮮の歷史に徵するに高麗朝以前の事は暫く措き李朝に在りては太宗朝の初めて各道に量田を施行し爾來數世の間屢次改量の事有りたるも現今に至りては實地に適合する者極めて少なく土地に關する唯一の簿書たる多數の量案は殆んど其用を成さず加之ならず從來の量田は其目的を主として地稅賦課の基礎を定むるに在り地主をして安全且確實に土地を所有せしむるの保障を與ふること無く若し一朝不正に此を橫領さるゝ事有るも容易に此を恢復するの途無かりしを以て地主の土地所有權は甚だ不安の狀態に在りたり故に地主は土地の改良に意無く農民亦耕耘播種の改良に心無かりしを以て土地の利用漸く廢絕し產業の不振遂に茲に至る是を以て今回政府は朝鮮全土の福祉を增進せんが爲め多大の國帑を投じ全域の土地を調査測量して其疆界及面積等を明にし各個人の土地所有權を確認し此を官簿に登錄し地主をして安全且永遠に其土地を改善利用せしめんとす而して本事業は其性質上獨り政府官吏のみを以て此を遂行すること甚だ困難なる者にして事業の完成に因り直接に多大なる利益を享受すべき地主は勿論直接間接に利益を受くべき地方公共團體も亦各て事業の進行に賛助し此が成功に努力せざるべからず故に以下項を分ちて本事業の目的及施行の方法竝に本事業の完成に因りて生ずる直接間接の利益を說述し以て本事業の趣旨を明かにすべし

第二章 土地調査（上）

土地調査は調査局官吏單獨に此を行ふものにあらずして地方の公吏及地主立會の上實地調査を爲したる後其當否を更に地方土地調査委員會に諮詢し土地臺帳及地圖を調製して地籍を明瞭ならしめ尙は地券を發行して所有權の保護を確實ならしむる者とす今其要領を擧ぐれば左の如し

一、調査（イ）準備調査 準備調査は面長及洞里長立會の上郡面洞里の疆界を踏査し其要所に標杭を建て面洞里の略圖を調製し且各地方の土地に關する制度習慣其他の狀況を調査し以て所有權査定の資料に供する者とす

（ロ）實地調査 實地調査は地主、地主總代及面洞里長立會の上一筆地の疆界地目及地主を調査し概況圖を調製して細部測圖の準備を爲すと同時に土地の品位を定め地主の權利の正確を期する者とす

步兵隊の交替期

朝鮮守備第二師團に屬する各步兵聯隊の歸休兵が各特科隊と同時に去る十一月都合に依り四月に延期され一方各特料を以て歸還すべきの處守備勤務其他の隊の新兵は既に各守備地に來着直ちに第二期教育及び其他勤務に服し居たるが第二師團の交迭既に虛說なる以上滿期歸休の各步兵は四月を以て歸還すべく新兵も同時に來着すべき筈にして步兵隊は特科隊の如く其兵員少なからざるを以て第一期教育を受けたる戰闘本位の步兵新入營兵は四月九日より輸送を開始し廿日頃全部守備地に到着するやなるが歸還兵は廿日後新入營の步兵隊と事務引繼を終了したる上二十五日頃より輸送開始し夫れ〳〵守備地を撤し去るべしと傳へらる

高利貸の減少

昨今富豪京城を始め各地に紳士として嚴めしき門構を爲し居る內地人の多くは其元を洗へば要するにアイスの範圍を脫する能はざることは何人も知る處なるが昨今各地方共斯る徒非常に減少し內地人としては當京城を除く外殆ど其跡を絕ち居れるの傾向あり是等に對しては總監部に於ても嚴重の取締を爲す方針の由にして殊に年末に入りて其多きを見るの場合なれば當局にては夫れ〳〵注意を怠らざる由なるが之れと同時に各負債者も成るべく金利の低廉なるものを撰擇する慣習となり一般朝鮮人も三分內外の金利の外は之れを敢てするもの少なく隨つて高利を以て營業とし居れるアイス等は愈々窮境に陷り市場の金融に關するもの〻外は殆んど之れを通ずるもののなきを以て昨今非常の減少を見るに至れるは悅ぶべき現象なり

俳句

●如月會納會句集（其の三） むら撰

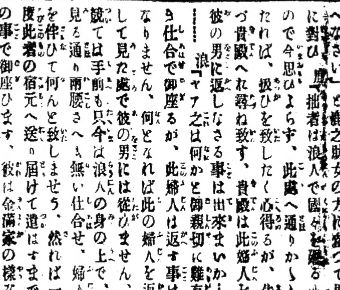
ひくらしやはつ寒公の三五日 彌生
霧こめて石斫る音の谷ふかし 同
兄弟は兵に召されてそはの花 香人
振袖にいなご飛ぶなり田舍道 春江
人● 雲をぬく御旗勇ましわけ花火 不得
地● みづうみの底に星見る朝寒し ひさし
天● 樒一つこぼれてねやの朝寒し 萩水
自句● 朝さむや市に石斫る槌のおと むら

和歌募集

勅題「寒月照梅花」 選者 九皐館去留

何首にても隨意、用紙用箋類も又御隨意の事、締切期限十二月廿五日、發表は四十四年一月元旦の本紙上を以てす、同好の士奮つて投詠せられんことを希ふ

十二月二日 本社編輯局



○新刊紹介

●貿易●（創立滿二十五年紀念祝賀會號）論叢には桂侯大浦男大隈伯演說を載せ貿易欄には東亞西歐南北米亞弗利加等の最近事情を揭載し以て材料の富める蓋し斯界雜誌中の白眉なり（東京日本橋宗十町日本貿易協會）

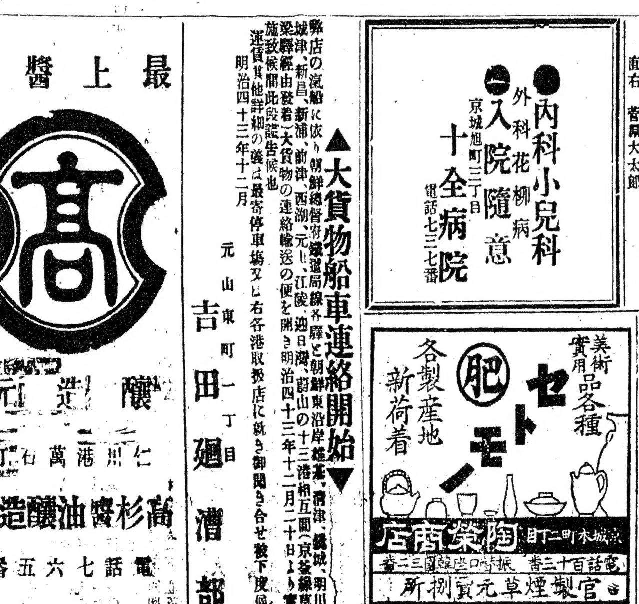
●實業之世界（十二月十五日號）一部十一錢內容は三宅博士の若い人は如何なる人かは再讀の價値あり其他線に於ける不得要領の一對、立派な苦學方法等讀むべきもの甚だ多し（東京市芝區愛宕町實業之世界社）

山中鹿之助

第四十二回 西尾麟慶演

鹿「シテ見れば貴公何うしても勘辨が相成らんか 大「元より云ひ出したからは勘辨相成らん、彼と勝負をいたさんければなりません 鹿「然らば先方が無手であるから刀を貸ては如何で御座る 大「夫は偷々出來ません 鹿「然らば不[illegible]へなさい」と鹿之助女の方に代つて男に對ひ 鹿「拙者は浪人で國を[illegible]るので今思ひよらず、此處へ通りかゝり、たれば、扱ひを致したく心得るが、先づ貴殿へ是尋ね致す、貴殿は此婦人を彼の男に返しなさる事は出來まいか……

浪「ヤア之は何かと御親切に難有き仕合で御座るが、此婦人は返す事はなりません、何となれば此の婦人を返して見た處で彼の男には從ひません、說て手前も只今は浪人の身の上で、見る通り兩腰さへも無い仕合せ、婦人を伴ひて何んと致しませう、然れば一度此者の宿元へ送り屆けて遣はすまでの事で御座ひます、彼は金滿家の樣な人ゆゑ拙者も此の婦人に對し度々意見をいたし、生涯不自由なければ彼の人の處へ往て身を任せる樣にと申しましたが中々聞き入れません、何卒御察し下さる樣に、鹿之助は婦人に向ひ 鹿「ナント婦人何うあつても彼の男の處へ歸る事は否か 女「妾は何うしても歸りません、向ふへ歸るやうになりますれば、淵川へ身を投げて死んで了ひます 鹿「何うも仕方がない、然らば貴殿は刀があれば彼の男と立合を爲さるか ○「假令小刀なりとも御座ひますれば彼と勝負を致します 鹿「貴公が試合をして向ふに討果されゝ其時には婦人は先方へ渡さんければならん ○「夫は元より左樣で御座ひます 女「左樣なりますれば妾は舌を噛で相果まする 鹿「さうれ覺悟をなされば拙者が刀を貸さう、ダガ刀を貸た以上は貴公が討れたから夫れで宜ひ、婦人を渡すと云ふ譯にも叶ん、さうなれば拙者が骨を拾つてやるからシツかりして向ふを討果しなさい ○「誠に難有ひ仕合せ、甚だ廣言では御座りまするが、小刀なりとも拜貸下されば高の知れたる彼の男、物のみごとに討果して見せまする、併し運拙くして彼に討れまする樣な事ある時は何卒御高免を願ひます 鹿「其決心をれ聞き申せば又先方へも申し入れる儀が御座る」と鹿之助熊井大五郎の處へ來て 鹿「貴公何うあつても自分の云ひ條を通し、女を渡さんければ試合を致すと申すか 大「いかにも 鹿「然らば先方では女は渡さないと云ふ故、試合を致さば拙者が先方へ力を貸すが、試合を致した曉に先方に殺されても決して刀を貸たものを怨みは致さんか 大「討るれば拙者の自業自得なれば、決して刀を貸したものは怨みません 鹿「然らば拙者は貴殿に何んの怨みはないが仲裁を致して届かん以上は、武士たるものが刀の手前跡へ引事は出來ませんから先方へ刀を貸ます、假令先方が貴殿の爲に討れたるにせよ拙者刀を貸た以上は何處までも助力致し、彼が討れたる後は拙者が代つて出まするに依つて左樣覺悟なさいと云つて、彼の痩たる浪人に向つて刀を貸ました、之を見物のものが見 ○「ヤア面白い、双方切合をするのに刀がなくて居た處、遂々一方へ刀の貸人が出た、彼の弱さうな浪人が切れると刀を貸た人が出て切合をするとよ……… △「夫いつは面白い、と云つてワイ〳〵騒いで見物をして居る浪人は右の膝をついて左の手を出して、右の手を下に向け刀を受取りました、鹿之助は之を見まして安心をいたし天晴此の武士は武藝の心得あるものだと思ひました、浪人は忽ち婦人の扱帶を以て襷と爲し、菊一文字の目釘をしめして夫へ來り 浪「アイヤ熊井氏細腕ながらお望に任して立合を仕つる、充分に御覺悟宜しくば……… 大「ヤア先刻より待受たり」と大五郎長刀血流しの附たるものを眞甲に振翳して身構へたり、此方の浪人は片身正眼につけてジリ〳〵詰寄る」思はずハツと聲をあげる暫くの間睨み合つて居りましたが鹿之助は船の破たるが修繕にかゝつてあるのがある、夫へ腰をかけて見物いたして居まする、偖て此の勝負は如何相成か



東京電報（廿一日）

▲聖上御風氣 聖上陛下には御風氣の氣味にあらせらると拜承

▲位階昇叙百廿一名 昨二十日宮中に於て大島關東都督以下百二十一名に對し敍位式を擧げられたり其の重もなる者は
敍從二位 正三位勳一等 大島義昌
敍從二位 正三位勳一等 片岡七郎
敍正三位 從三位勳一等 加藤高明
敍從三位 正四位勳二等 阪本俊篤
敍正四位 從四位勳二等 牟田敬九郎
敍正四位 從四位勳二等 谷田文衛
敍正四位 從四位勳二等 五十嵐敬助
敍正四位 從四位勳二等 伊知地彥次郎
敍從四位 正五位勳三等 渡邊水哉

▲內務省冗員淘汰 內務省にては先頃來事務官補、判任官等にして老朽事務に堪へざる者を調査中なりしが漸く終了したる由にて來二十五六日頃移動を發表すべく淘汰人員は約事務官補十名上級判任及七十餘名なり

▲總督府歲出入裁可 朝鮮總督府特別會計法によりて支出せる總督府諸費三百六十萬八千七百三十八圓同總督府歲入を以て支出の件及び平壤鑛業所特別會計歲入を以て支出の件上奏裁可を經たり

▲第二豫備金支出認可 傳染病豫防費、馬疫豫防費、畜蟲豫防費、万國學士院聯合大會參列費其他三十三件に就て豫算外の支出を要し其金額第二豫備金より支出の件各主務大臣より請求により總理大臣は上奏裁可を經たり

▲開院式仰出さる 第廿七帝國議會開院式は廿三日午前十時擧行の旨本日仰出されたり

▲練習艦隊の消息 淺間笠置の兩艦は豫定の如く十七日墨西哥カイブレー港に安着熱誠なる官民の歡迎を受けたり

▲海軍大砲射擊場變更 海軍大砲實射場は從來鎭海灣の後方なりしを今回大分縣別府灣の方に變更し明年度豫算六十九万八千圓計上されたり

▲艦長等の任免 軍艦淺間艦長兼阿蘇艦長海軍大佐笠間直氏は兼職を免せられ海軍中佐中里重次氏は英國駐在を免じ阿蘇副長に補せらる

▲海事協會と義勇艦 帝國海事協會に於ては評議員會を開き第一義勇艦櫻丸第二梅ヶ香丸等貸與の件を可決し第三艦建造の件は其の着手時期に就て未だ決定せざりしと

▲農相の招待 大浦農相は今回大日本博覽會長に新任命せられたる平山成信氏及び新歸朝の古市光威、手島精一、田所美治諸氏並に押川次官堀秘書官、豐浦、岡本兩事務官其他大日本博覽會關係者を官邸に招待し晩餐會を開き食後諸般事務打合せを爲せり

今日 十二月廿二日(木) 舊十一月廿六日 白赤口辛酉 納△一便

運勢 宜利得ある日なり千球の事を擧げ雇入れ等尤も妙△二黑 旅行入學門起業開店に忌む其他運んで吉道失紛失防ぐべし△三碧 見合せの事金品授受計算貸借間違ひ易し旅行凶△四綠 れ易き日なり盜害橫領防ぐべし衛生負傷注意の事△五黃 酒色を禁ず △六白 新事義恩愛に牽かれて累を貽し易し 委任委托保證連盟台同婚談効無し其他諸事議儀の事旅行轉住に凶△七赤 中傷誣妄又は軋轢突衝あらんとす尙證券金錢貸借に尤も注意すべし△八白 不得要領の日諸事手控への事計算貸借金談に尤も忌む△九紫 人の爲め世話保累多き日新事旅行婚談貸借不動產上の事に尤も忌む（本町五丁目三一館判斷）

雜報

●總督公使の會見 二十四日歸任すべき寺內總督は目下滯京中なる汪清國公使と二十五日午前十一時總督邸に於て會見すべしと

●淸公使の出發期 汪公使は二十五日會見後同日午後十時四十分南大門發京釜列車にて歸任すべし

●淸國領事館新設 汪淸國公使は過日西鮮視察の際國境貿易の現在及將來に就て詳密なる調査研究を爲したるが就中本年一月一日を以て新に開港さるべき新義州と淸國との貿易關係に就ては多大の注意を以て視察したる由にて其結果同地に領事館を新設さるべしと確聞す

●鑛業法と鑛床調査 鑛業法は早晩改正さるべしとの議ありたるが右に付き當局者の語る處によれば從來外國人の採掘權を許可しありたるを此際本國と均しく禁止する如きありて是は所謂機會均等主義にも反する如き嫌あるを以て以前の如く其採掘權を許可する事とし又元宮內府所管なりし各礦山も當分從來の如く取扱ふ方針なる由而して昨今頓に增加したる採礦請願の如き近々處理せらるゝ樣傳ふる者あるも當局にては朝鮮の礦床調査すら未だ詳細企てられたる事なきを以て此際專問技師の新任ありたるを幸とし全國の礦床地質等確實に調査終了の採礦請願を處分する順序なりと云ふ

●京畿道と養蠶授產 恩賜金 先日各道に下し給ひたる恩賜金に就ては爾來其使途に於て講究中のところ結局其利金を敎育、授產、救恤の三途に用ゐる事となりたるは既報の通りなるが京畿道廳にては授產問題に付き種々調査を遂げたる末土地柄養蠶事業の勸獎を企圖する事に略ぼ內定せるよしにて目下其方法取調中に屬するが檜垣道長官は是れに關し既に一定の企畫あるやにて今明日中病氣輕快を見ば次第出廳して大庭府尹と面し諮議する筈なりと

●朝鮮の日人僧侶 內地人にして朝鮮各道に移住し來り佛寺を開くもの最も多く殊に本願寺派其大部分を占め臨濟、曹洞之れに次ぐ由なるが右の中當局の認可を得たるものゝみにても五十九個寺にして其僧侶數は百八十六人なるも其他に認可を得ざるもの此の倍數に上る見込なり

●黃海道徵稅成績 由來人氣險惡の傾ありし黃海道の徵稅成績は非常の不結果なりしが本年度殊に十月以來民心一變し意外なる好成績を擧ぐるに至れり十二月十五日現在は一躍四十二萬圓の巨額に達し全道第一の好成績也

●代理業者に訓令 特許訴訟代理業者資格に就ては二十日の紙上にも報道する所ありしが同日明石警務總長は從來の同業者に對し左の如き訓令を發せられたりと

特許訴訟代理業者は辯護士規則改正の結果消滅し從業の擔當事件と雖も今後は統監府裁判所司法事務取扱令第五條第六條刑事訴訟法第百七十九條の二に依り手續をなすの外なく從來事務所に揭げ居りし看板は殘務處理の必要あるべきを以て來年三月末日迄其儘差置くも差支なし

●洞里廢合の實施 郡面は內務部の直轄に屬すれども洞里は各道長官の權限に屬し道長官の行政上之を廢合するを得るの方針は嘗て報道せし處にして過日第一着として慶尙南道に於て之れが實施を行ひたるが去る十七日平安南道に於て之れが廢合を爲し同道安州郡大代里鉢中里及び松林里を合して鉢南里と爲し更に龍興里を鉢北里に合併したる旨松永道長官より內務部地方局に宛て通報する處ありたり

●電軌問題と民論 東大門、鐘路間の電車複線は現在の線路に沿ふて敷設することに許可すべく內定したる由なるが一方線路側の人民は勿論一般の人民も又中央に敷設を希望せるを以て日鮮商業會議所より二十一日當局者に向け警告書を發したる筈也

●民團債と認可期 認可申請中なる當民團の團債に就ては當局者に於て今尙ほ取調中なれば或は年內には認可發束なかるべしと

●商業會議所臨時總會 京城商業會議所にては來る二十五六日頃臨時總會を開き京城府廳より諮問せられたる朝鮮人の米穀商同業組合設立の件及び電車複線の位置に關する件を附議する由なり

●京城敎育會總會 京城敎育會々長は前會長及び三浦理事官の轉任以來欠員となりしが二十一日午後七時より京城商業會議所樓上に於て總會を開き役員の選擧及び來賓の講演ある筈

●選擧名簿下調べ 當民團に於て過日より夜業して議員選擧名簿調製中のところ昨今大に進行し廿二日夜にて下調べ丈けは結了する筈なるが本調査は二十四日にて終了すべければ是れを以確定とし廿六日告示を發して一月一日より七日迄縱覽を許すべしと尙名簿は當局者の談によれば以前の名簿より六百名許り減じたるも又新規に五百餘名增加の見込なれば差引大差を見ざる可

民團議員豫選投票

賢明なる我が**寺內總督**は吾人移住民の集團的幸福を重んじ**自治体存續**の意味を以て今回民團議員改選の事を發令せらる、此の恩惠ある總督の措置に付いては吾人は衷心より感謝せざる可らざると同時に來らんとする選擧を最も**淸潔**に最も**平穩**に行ひ一は眞に有力なる**良議員**を擧げ以て總督政治の下に於ける自治体の發達を計り、他は總督府所在地住民としての**面目**を**發揮**し因つて以つて總督の深慮に應ふるところ無からざるべからずと信ず。

凡そ議員の選擧をして公明淸潔平穩に了らしめんとせば其の最も**排斥**せざるべからざるところの者は、所謂**自稱候補者**の無意識なる運動と并を助くる運動屋の運動となり、嗚呼無意義の運動、之れが發しては**宴會政略**となり、**請托**政略となり、**脅迫**若しくは**賣收政略**となる。如斯きは獨り民團の平和を害し、且つ其面目を傷くるのみに止らずして實に法律及道德上の大罪を犯す。

嗚呼本社が民團議員の選擧に關し惡德の行はるるを恐ふるや久矣、故に之が**絕滅**を期せんとして今回の豫選投票を企つ其理由は大要左の如し

凡そ議員選擧混雜の源因として數ふべきもの多からんと雖も其最大源因たるや實に候補者の過多なるに存す、候補者徒らに過多にして競爭益劇甚を致す茲に於てか紛亂惡德其結果として行はる何ぞ怪しむを要せん、而らば之が救濟の策は如何、曰く、**選擧に先ち輿論を以て適任候補者**を定め一は以て選擧**有權者**をして**據**るところを**知**らしめ他は以て幾多**小野心**家をして所謂當選運動の無効なるべきを自覺せしむるにあり。

本社豫選投票の趣旨は右の如し、**江湖の諸君**冀くば本社の微意を諒し左の規定に從ひ投票に御**參加**あらんことを。

民團議員豫選投票規定

一、京城民團民會議員適任者と認むる者**二十名**を有資格者中より選出する事

一、**投票用紙**は本新報に刷込ある用紙に限る事
但し投票人は**無記名**とす

一、一枚の用紙に認むべき**議員適任者**の數は**五人以內**たるべき事

一、**投票**は本社前の投票箱に投入の事尤も郵送の分は京城新報社內豫選投票掛へ宛らるべし

一、**締切**は明治四十四年一月二十日とす但し日々に於ける投票の結果は日々の紙上に於て公けにすべし

一、**總開票**は締切の當日若しくは翌日とす但し其結果は本紙上に公にすべし

一、總開票**立會人**は追つて決定の上發表すべし

右以外必要の事は追次本紙上に廣告すべし

●民團立學校休業 民團立各學校は過日より學期試驗擧行中のところ最早結了せしに付き二十五日より來一月七日まで冬期休業を爲し尙は八日は日曜日なれば翌九日始業式を行ふ筈也

●平南間貨物輸送狀況 結氷後平壤の貿易が專ら京義中南兩線に據ることゝなりて以來南浦より解便による筈なりし貨物約六百噸も平南線によりて平壤へ輸送せられ其中四百噸は驛倉庫附近に載積せられつゝあり雜穀の輸送は已に下廻りとなりたるが十月以來平壤を經由して南浦に集積したる雜穀は凡て二千噸に上るべしとぞ

●平南道砂金鑛區 平壤附近に於ける砂金採掘鑛區にては朔州、雲山遂安等を採掘量最も多き所とし价川順安等之に次げるが最近に於て平安南道清川江の上流なる細竹里の鑛場の出金量漸次多きを加へつゝあり將來有望なる鑛區となるべしと云へり

●村瀨副參事母堂死去 朝鮮總督府鐵道局副參事村瀨鐵次郎氏の母堂は廿日午前八時死去葬儀は廿三日午前九時南山の官舍を出十時南山の本願寺に施行

●定期航路の開始 仁川秋田商會にて新航路を開始する由は既報の通りなるが廿一日は海州、龍湖島、浦潮を經て九味浦に至る新線路を廿二日は靈興島を經て德島に至る一線を開始 何れも月六回の航行を爲す由

歲末の金融に就て
百三十銀行上杉營業課長談

本年十月新政發布の當時に於ては一般に人氣引き立ち一方韓人側にては穀物の豐穰あり恩賜金の下付あり他方日本人側にしは官吏の移動ありたるも相當資金ありし爲め活氣を呈したるが官吏の轉任あり內地へ歸へるもの頻々なりし以來商人側に於て見越仕入を增加したるもの、實行頃に減じ十一月十二月に到りては官吏の年末賞與無きと軍司令部警務總監より歲暮贈答を嚴禁したる爲め是亦多少の原因を與へて商品賣行澁々しからず喜歲大賣出しに就ては多少異論もありしやに聞けど現に角前陳の不景氣なるを以て前景氣を付けたるならんも十月頃の豫想とは非常の違ひにて殘る旬日に如何なるべきやは豫測出來ざるも例年に徵すれば二十日後の瞬間に於て賣行最も盛なるを以て或は景氣を挽回すべきか而し朝鮮人側の景氣は依然たるを以て此の方面に取引する者は左程痛痒を感ぜざるべきも爲替期日の廻り來ると共に十月以來商品の掛金は回收出來ず從て銀行に於ても預金は減じ貸出は先月に比して約一割强を增したり金銀の出納も昨年末に比すれば本月二十日迄の計算に於て約一割强を減じまた爲替の受入は本月に入りて一層增加し廿日迄の計算にて約二十萬圓に達せり云々

●滊船の南浦輸入 すミュル商會の手を經てチャイナミユチアル會社の汽船チングウオー號（總噸數六千二百噸）を鎭南浦中村商店にて買受けたり

●軍醫部長の視察 大西軍醫部長は本日午前より京城憲兵隊本部及分隊に出張し衛生狀態を視察せり

●關慈惠院長入城 忠淸北道淸州慈惠院長關寬藏氏は事務打合せの爲め二十日入城旭旅館に投宿せり

●新舊參謀長の招宴 榊原柴の兩少將は二十一日午後六時より京城ホテルに總督府高官を招宴すべしと云ふ

●民團吏員忘年會 來る廿四日午後五時より有明樓に於て忘年會を催す

●岡田辯護士歸京 二十日新義州より

●辭令 （十九日附）
公州地方裁判所檢事 田中永次郎
兼補公州區裁判所檢事
兼補咸興同上咸興同上 藤村源太郎
兼補平壤同上平壤同上 堀部廣
兼補海州同上海州同上 箱田淳
兼補大邱同上大邱同上 吉田眞策
兼補釜山同上釜山同上 上谷榮太郎
兼補光州同上光州同上 福田豐喜

●天氣豫報 自廿一日午後六時 至廿二日午後六時
北東の風はれ

●新刊「京城と內地人」 今回出版せられたる川端源太郎氏の編輯に係る本書は從來渡鮮希望者は勿論朝鮮の事情を知らんと欲するものゝ爲めかんとしたる處を平易に而して周到に釋明したるものなり僅かに旬日にして成りといふ二百四十頁の小冊子なりと雖も其の內容は先づ半島の地勢氣候より居留內地人の發達夫現務敎育衛生宗敎交通通信經濟事情等殆んど網羅し悉くして京城マノラマの觀あり殊に卷末內地人の諸經營と題して府下知名の紳士紳商の履歷は各種の階級を通じたる詳密なる說明と共に好個の成功談と見るべく京城の縮圖と謂ふも過言に非ず實に京城を知らんと欲するものゝ一讀すべきものなり定價四十錢日韓書房にて發賣すと

民團議員選擧に付
龍山議員 國井泉氏談

ハアー意見としては無きにしもあらずだがそう、一寸、急には、全体今度の改選は日鮮併合第一着のことであるから餘程愼重の態度を以て忠良の士を撰ばねばならぬ、一は鮮人の模範となり一は併合後の施政を改善せねばならぬ余程今度は六ケ敷ひ、京龍も合併した今日敢て龍山より選出しなければならぬことも無ひが、併し土地其ものより云へば出さなければならい、一体今の民團の經費は約三十萬圓程あつて其半額の十五萬以上は敎育費に投じてあるが、扨て其敎育上の成績が今果して如何であるか、之れを充分の成績あらしめねば折角の敎員の熱心も其効なく又莫大の敎育費も殆んど水中に投ずる結果になる、今回は是非共何等か改善の道を講じて熱心なる、議員を得たいと思つて居ります。

●同上今井善藏氏談
いや自分は別に定見としては持たないまだ早いですからなアー、一月十日後ですね、私は議員の總數三十名の內、龍山より否な南大門外より是非共十名の議員を出したいと思つて居る、それで詳細の事は後日れ話しを致したい。

●同上松本張三氏談
意見なぞありません（在以上文責記者）

▲京龍兩驛の貨客▼

▲南大門驛乘降客（二十日）の分
乘車客 五六一 下車客 七五〇
乘車賃金 九六五、二五〇

▲南大門驛發送高（二十日）の分
發送 七四噸 到着 九八一噸
貨物賃金 九五六、九三〇

▲龍山驛の乘降客（二十日）の分
乘車客 一三八 下車客 一四八
乘車賃金 一六四、一三〇

▲龍山驛貨物發高（二十日）の分
發送 一噸 到着 一三一噸 貨物
賃金 八五、三九〇

▲仁川港の船舶出入▼
▲筑後川丸 廿二日長崎より入港
▲營口丸 同 大連より入港
▲神代丸 同 神戶へ向出港
▲筑後川丸 同 大連へ向出港

▲京城手形交換高▼
十二月廿日 金高 一六二、九三七、一八二 枚數 四〇九

相場電報 （廿一日）
（明治町西村支店着電）

▲大阪株式（二月限）

		（前日後場）	（當日前場）
神戶電鐵	寄	三七、五〇〇	三七、六〇〇
同	引	三七、四〇〇	三七、六〇〇
京坂電鐵	同	五九、六〇〇	五九、五〇〇
同	同	五九、一〇〇	五九、五〇〇
鐘淵紡績	同	一〇四、二〇〇	一〇四、六〇〇
同	同	一〇四、二〇〇	一〇四、四〇〇
日本郵船	同	九七、二〇〇	九七、四〇〇
同	同	九七、四〇〇	九七、四〇〇
東京株新	同	一二八、二〇〇	一二八、三〇〇
同	同	一二八、一〇〇	一二八、八〇〇
大阪株式	同	一四〇、八〇〇	一四〇、九〇〇
同	同	一四一、〇〇〇	一四一、〇〇〇
同直取引	同	一三九、八〇〇	一三九、一〇〇
同	同	一三九、四〇〇	一三九、一〇〇

▲大阪期米 （廿一日）
▲後場前日十二月納會▲一月限十四圓五十七錢▲二月寄九十七錢▲二月止五十六錢▲二月限九十六錢
▲當日前場▲十二月一月出來不申▲二月寄十圓八十錢▲最高九圓八十八錢▲止八十錢

▲仁川米豆取引 （二十日）
▲後場十二月一月出來不申▲一月限八圓八十五錢▲二月寄七十二錢▲中直八十三錢最低七十二錢▲止八十二錢

▲治外遊離▼

東京駐劄汪淸國公使が國境から歸つて來た、公使國境視察の結果はサテドウ有つたか▲汪公使に敬意を表する爲め韓銀の市原と三井の淺野とが連合で公使を御馳走するとはソウルプレスの所報だが之は甚だ結構の事だ、思ふに三井の淺野は市原に比して餘程後輩だ、長七たる者市原の尻に附いて然るべく指揮を受くべしだ、トは云へ外賓接待の役は中々骨の折れる事だ▲特許訴訟代理業者資格喪失の問題が大分喧しくなつた、右に對する警務總監部の態度は思慮ある態度と云つべしだ、藪から棒に飯の種を取上げられた代理業者共は此寒空に可哀相な事だ▲鮮人基督敎青年會は會館擴張に要する費用を得んが爲めに目下寄附金募集中だ、何にしろ寄附金勸誘の名人神戶のウイルバアーと云ふ人がヤツて居るのだから僅かの間に何千圓と集まつたソウだ、聞く右の寄附金が一萬圓に達すると米國の青年會本部から三萬圓を寄越すソウだ▲基督敎と云へば過日廣通館であつた敎徒聯合會は御用紙の報道では盛んな樣であつただが實は甚だ淋しかつたもので、つまりは失敗であつた▲日本人信徒の總出席數は九十七名であつたが外人宣敎師は只の九名、而して朝鮮人信者ノ出席は驚く勿れタッタ六名であつた。

民團議員豫選投票用紙

京城新報社

今日の運勢

十二月廿二日舊十一月廿六日 白赤口辛酉納○一便●便宜利微ある日なれ弁護の事を擧げ履入れ等尤も妙△二黒●旅行入學門起業開店に忌む其他進んで青道失紛失防ぐべし△三碧 新事見合せの事金品授受●●計算貸借間違ひ易し旅行凶△四緑 …上…破れ易き日なり盗害横領防ぐべし衞生負傷注意の事△五黄 酒色を禁ず慎義恩愛に牽かれて累み易し△六白●委任委托保證連盟…婚談効無し其他諸事謀議…旅行凶△七赤●中傷誣告又は軋轢突發あらんとす倘證券金錢貸借に尤も注意すべし△八白●不得要領の日諸事手控への事計算貸借金錢に尤も忌む△九紫●人の爲め世話保證事件…不動産上の事に尤も忌む（本町五丁目三一館判斷）

●村瀨副參事母堂死去 朝鮮總督府鐵道局副參事村瀨鎌次郎氏の母堂は廿日午前入時死去葬儀は廿三日午前九時山の官舍を出棺南山の本願寺に施行

●天氣豫報（自廿一日午後六時至廿二日午後六時） 北東の風はれ

民團議員選舉投票用紙

活動寫眞　覆面子

二十一日 **朝の南大門驛** 朝霞ははつきりと晴れて風が寒い、冬だなと思ふ人のみ通る朝ぼらけ、電車を飛び出して驛へと馳け付けた來るは〱東西南北の人、斯ふ出る人のみでは**京城は空虚**になるであらうと、杞憂をそゞろに起る。

一團の歸國隊 は其**指揮者**らしき京城**旭町**一丁目の土木建築請負業**平下助三郎**と云ふ八字髭の先生の**命令**のまゝ働て居る、下之關とか、福岡とか、長崎とか種々の國名を書いた木札の行李や道具箱が混亂して居る其間に不釣合な**束髮**に赤豆色**縮緬**の**羽織**着た若き**美形**が添ふた **藝者か酌婦か** 疑問は僕の腦中に湧かざるを得ない、

進物用鶴一羽在中 大至急と書いた小籠は京城本町九ノ四岡瀨大吾出、神奈川縣靑木町松下某行である、見落さんとした**小籠**は頗る其宛名が奇拔だ、云はく、東京牛込區早稻田町

大隈伯爵邸行 で差出人は京城西小門内朝鮮總督府書記官**山邊勇輔**と云ふ肩書のある人だ、怪しや剛体尾行の束髮美人は何時の間にやら

雲隱れの藝當 を演じた、僕の足は自然と棚内に引付けつれた、が僕は夫れ以上の細心注意が餘りに罪深き業であるを知りて眼を他に轉じた。

金線帽の大勢 は二等室の前に、ヅラリと立つた、中白の外套紳士は小さき令孃と下女を携帶して別を叙した、御姓名は確か **菱谷精吾** と知つたか、官吏か商人か、僕は職員録を繙くの餘裕がないから知らぬ〱と辭した、ヨボは其肩より重き行李を卸した、とたん惜しや **花瓶二個** は他の重量に壓されて**破壞**した、

怒る人、怒らるゝ人、其**活劇**は、スケッチする暇がない。

午前九時四分 發車した、あゝ明日は山青く水紫きなる神州の地を踐む人々の、切に幸多かれと祈る。

危ひ哉

驛夫の深切!! 新義州行列車に後れ馳せの女の手を拉して西大門行**列車の中間を横ぎりて乘込**ました、ブリッチは彼れの爲めには其用を爲さない、爲めに**時辰**は九時十四分を示した、此の貴き **交通機關** は**女一人**の爲めにあたら**四分を蹂躪**された、驛夫の親切は彼の女に感謝の念を起さしむ、然れども交通の本義より云へば……茲にフイルムは一變して活ける夜の光景は明日

鶴子の落籍魂膽

▽外れても外れぬ禍の運

新町遊廓高嶋屋の鶴子と云ふは横濱市石川町生れにて本名を櫻田つる(六十)と申し去る四十年十二月例に因て親の爲とて前借金四百三十圓三ケ年の契約にて**高島屋**に抱へられ此の妓容貌も惡るくないので同樓の賣れつ妓の一人に數へられ職も大分張り續けし程のれ女郎なりされば普通なりせば本月十三日年期滿了廢業す可き筈なるも筈通りには運ばぬが世の習ひさても無情や病氣其の他にて多額の借金が增し自由の身とはならぬがされど又一方には見捨る神あれば**助くる神**ありと云ふ世の中とて鶴子〱と本年二月頃より可愛がらせらるゝ其の助ける神と云は新町二丁目派出所附近の**酒造家岩田**某とは申すなり此の人なかゝの**資產家**なるが如何なる都合ありてか妻子は郷里に殘し置き自己一人渡鮮し現在の商賣を開業せしなりとか岩田某は口入業丸尾楠田仙八郎とか云ふ**策士と謀**り鶴子を落籍し妻なり妾なりに我家に引入れんとて楠田をして高島屋に談判せしめ高島屋より**百九十六圓**の計算書を取つた然るに**鶴子**は岩田楠田の**兩人に唆**かされた**譯**でもあるまいが何んと思つてか年期滿了す可き筈なるに百九十餘圓の**計算**は**不當**なりと其計算書を握り十七日**警察署に飛び込み**斯く不當の請求致すに付相當の處分を願ふた警察官取調べたるに不當處か五十圓許り減じある事發見され反て御目玉を頂戴し計畫美事失敗し岩田氏も仕方なく百九十六圓を支拂ひ旭町三丁目**夫婦庵**にて**落籍祝**を開宴せし由にて目下丸髷姿で**奧樣然**として店員等を指揮しつゝあるが此の由誰れか**妻君**の許に**打電**せしものあり夫れと知つた妻君は朝鮮大根の如な角を生やし**渡鮮**して薄情男の咽笛に食ひ着いて遣らんと目下**準備中**の由なれば遠からず一悶着起る可しと心配の如な顔をして樂しみにして居る連中鮮なからずとはさても恐ろしい世の中かな

●**留置被告人の逃走** 曩に南部署に於て當原隆雄を竊盜被告人として留置刑事の手にて取調べ未だ適式の報告未濟にて何等調書も出來ざる内に看守巡査の隙に乘じ逃走以來非常線を張り捜査中なるが今に逮捕に至らず當局者は非常に苦心し居る處に龍山警察署にても二十日午前七時頃留置被告人を取り逃したりと云ふを聞くに福岡縣門司市新町一丁目土方職品川與一(三十)本月十日夜平壤停車場前松岡旅館に忍び入り止宿人某所有の金側時計一個外六點(代二百餘圓)を竊取し逃走せしを龍山署に取押へ尚は餘罪ある見込にて取調中二十日午前七時頃看守巡査の隙に乘じ逃走せし由にて目下嚴重に搜査中なりと

●**僞造變造貨幣發見** 近來僞變造貨幣の類々として發見せらるゝは既報の如くなるが其種類は十錢及二十錢銀貨並に五圓紙幣最も多きを以て一般授受に充分注意すること肝要

●**手形僞造行使** 吉野町五番戶雜貨商森元次郎(四〇)は本年三月頃金錢の必要上豊田由松なる者の手形を振出し金百圓を借り出すに當り裏書人を要する事を示され他に依頼す可き者なきにぞ平素懇意なる島野竹造なるものゝ承諾を得ず裏書人となし署名し有合せの印を押捺し手形僞造行使した事[illegible]

●**仁川雜事** 仁川花房町二丁目運送業山中初三郎(三五)は二十日午後七時三十分頃支那町一丁目飲食店金杉清次郎方へ一杯機嫌で入り來り懷中より五十錢を出し酌金に仕拂ひ酒肴を出せと命じ飲み初めたるに肴が一品にては高いとて立腹し爭論の結果喧嘩を爲し居るを以て警官出張取鎭め取調べの上前記の次第と判り說諭放還▲敷島遊客 二十日夜は二十二人にして散財高百二十四圓九十九錢なり▲仁川京町二丁目中村金太(三四)松坂町二丁目園田松藏(三八)同二丁目村上巳登治(五〇)の三人は一昨日午後十時頃村上宅にて金錢を賭して丁半の最中へ警官に踏込まれ一日取押引致せられたり

●**浪花館** 初日より大人氣なる浪花節京山北星一座二十二日演題は白石噺(虎奴)後藤又一郎(虎喜代)水戶黃門記(隅圓)大久保藤の丸(小虎丸)石山軍記 虎丸)義士銘々傳、左り甚五郎(京山北星)なり

●**鎭南浦郵便局燒失** 十九日午前三時三十分頃本館内なる電池室より發火し本館全部を燒失し五時四十分鎭火したり損害は建物一万五千圓切手約一万圓什器五千圓計三萬圓に上れり猶は火災當時同局に保管停滯中なりし郵便物は何れも遺漏なく搬出され全部安全なりと即日同構内倉庫内に假事務所を開き支障なく一般事務を取扱ひ居れりと

●**精良銃器** 東京市四谷區傳馬町内山銃砲店は品質の精良と價格の低廉なるとにて好評を博し居りしが本年も獵期に入りてより一層勉勵して大に好獵家の便益を圖る由委細は本紙廣告に就て見られよ

歌留多早取法(六)

▽巧手も少々見る可らず

三、取り方(下)

それから茲に又眼と頭との相棒に手と云ふ奴が居る此先生中々意地惡く思ふ樣に働いて呉れぬ、頭と眼がそれと云ふや否や諾と云ふて飛び出す迄はよいが途中で鳥渡立止まつて見たり、二三度も出したり引つ込めたりするのは未だしも、れ隣りの札を撥飛はして頭や眼に迷惑を掛けたり、右と云へば左、左と云へば右と云ふ樣に途方もない方へ飛び出したりする、甚だしいのは敵の札四五枚も一時に撥ね飛ばして折角敵が苦心して並べてゐる札を滅茶苦茶にして大迷惑をなさすことがある、之れ等は正に相當の刑に處する價値がある只頭や眼の命令に服役してゐれば[illegible]な謀ではない樣に思はれるが此手とて一方の旗頭である以上そんな優しい事では到底行かぬ、即ち兄分の頭や眼と異り、手には用意と云ふものが必要であるのだ、用意に依つて早くとも遲くとも、又右へでも左へでも、自由自在に活動するのである、勿論頭と云ひ眼と云ひ多少の用意は必要には相違ない、けれども此手の如くに必要は認めない、手は用意に依つて始めて働くのである、臂とか首手とか脚又は曡に付いてゐたなら決して思ふ樣に飛び出すとは出來ない、必ず臂を張り手先きを穴間に浮かして置かなければ前述べた如く頭や眼に大迷惑を掛ける樣な失態を遣り出すのである、繰返し云ふが此歌留多遊びには迅速を第一に貴ぶのであるから、手の働かし樣に依つては優に勝敗の數を決することになるのだから手は必ず縱横自在何れの方面に飛び出さうとも大丈夫と云ふ樣に充分用意をして置いて、そして讀方の發音を俟つのである そして手の働く範圍は眼と略同時であつて休息時間も同じ樣である、休息すべき時間に休息せず札の整理や陳列の修正に長引いたり甚だしきは鼻の穴を堀つたり尻を搔いたりしてゐる者がある、之等は上手に成ることが出來ぬ手合である故に先づ手は臂を張りて電の樣に飛び出す用意に常に怠らずしてそして一度飛び出して目的の札を撥飛ばしたら又直ぐ膝の元迄逆戻りして徐ろに休息をする、かくて次の突進の用意を仕直すのである、以上取り方に於ては略々盡した積りであるから愈々實戰上に於ける必勝手段に就て述べよう。

◆平民文庫◆

▲仁川歌舞伎座に開演中なる照十郎一座を仁川には餘り見慣れぬ藝妓が初日以來毎晩〱正面棧敷にテレリーンと見物して居るので聞いて見たら京城掬翠の秀子とか云ふ藝妓だそうして一座の後を追ひ來つて右の次第だとの事何にか面黑い事がありそうです(岡目)▲先日私宅へ仁川水道事務所の方が出になり水道を引用する樣御勸めなさるので何程位費用が掛るか御聞きしました處測量を致さねば確かりとは申上られませんが先づ二十間前後なれば出來ると申されました▲それで一圓の料を仕拂て測量を頼みましてスルト翌日別な方が來て測量をして四十四圓掛ると申されました故昨日の方の話とは餘り相違し舛のでどう云ふ譯でそう違うかと聞きましたら昨日參つた者は未だ新參で能く分らないので二十圓前後と申上たので御座いませうと申すのです▲私も餘り高い樣な氣がするので取消を致しましたそれで申込の一圓は測量費として取れましたそれでも私の知人の處でも右の如く取れました始めは安く云ふて申込料を取り置き後では非常に高い事を申して申込料を返さないのは一種の詐欺ではありませんか數へて下され(只取られ生)▲仁川本町四丁目の○島薬店に年の若い妻君が居る大分浮氣性と見へる注意せんと秘密を素破抜き弁よ(△△生)▲仁川寺町耶馬溪樓妓福助君は貴新聞に晒されて意氣消沈の姿に御座候福助曰く妾は娼賣柄ですから仕方もありませんが伴さんが可愛想ですわとさ(暗知生)▲僞善生に告ぐ匿名を以て人の中傷をするとは不屆千万の事菊池の性を洗ふなれば自分より名乘りを擧げてせんか武士の作法を知らん奴まご〱すると承知せんぞ(公平生)

村瀨鎌治郎母いち子儀病氣の處本日午前八時死去致し候間此段辱知諸君に謹告仕候也
追而來ル二十三日午前九時自宅出棺同十時京城南山町本願寺ニ於テ葬儀執行仕候
明治四十三年十二月廿日
龍山鐵道官舍第廿三號
男 村瀨鎌治郎
同 村瀨末一
親戚 清河純一
同 一木元周
友人總代 岡 正矣
三本武重